

◆◆ 新年のごあいさつ ◆◆



横河電機健康保険組合
理事長 相澤動太

新年明けましておめでとうございます。

事業主ならびに被保険者の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

厚生労働省では、増加し続ける国民医療費の抑制を推進すべく、患者負担の見直しといった短期的な対策とともに、21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21」や、平成15年には健康増進法、同法にもとづく保健事業指針、そして昨年からスタートした「健康フロンティア戦略」により、生活習慣病対策による中長期的な医療費抑制政策に取り組んでいます。

しかし、先般公表された平成15年度の国民医療費は、前年度比1.9%増の31兆5,375億円で過去最高を更新しました。こうした増加し続ける医療費を抑制するために、今年4月には診療報酬の改定が予定され、また、医療制度改革に向け、昨年12月には政府・与党医療改革協議会が「医療制度改革大綱」を決定いたしました。今後この大綱に基づきながら具体的な改革法案が作成され、今年の通常国会へ提出されることとなりますが、この大綱では、健康保険組合連合会として、特に新たな高齢者医療制度について問題が多いと指摘しております。

当健保組合といたしましても、こうした医療制度改革の動向を注視していくと同時に、生活習慣病、特に心筋梗塞や脳卒中などの疾病をひきおこす内臓肥満に着目した「メタボリックシンドローム」対策等進めるなかで、健全な医療財政に寄与するため、努力してまいる所存です。

健保組合を取り巻く状況の変化に対応しつつ、今年も保険者としての機能をしっかりと果たしていきたいと思っておりますので、事業主ならびに被保険者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2006

